

三宅島OWS大会2017大会二次要項

主催	三宅島 OWS 大会実行委員会
主管	一般社団法人 Nows・一般社団法人三宅島観光協会
後援	三宅村・東京都三宅支庁
協賛	七島信用組合・東海汽船（株）・（株）平善・三宅島建設工業（株） スポーツクラブ NAS（株）・（株）ヤマナミ・山本光学（株）（SWANS） サッポロビール（株）・ポッカサッポロ フード&ビバレッジ（株）
協力	三宅村商工会・三宅島漁業協同組合・NPO 法人三宅島スポーツ振興会

★会場★ 東京都三宅島三宅村・錆ヶ浜海水浴場(天候により大久保浜海水浴場へ移動)

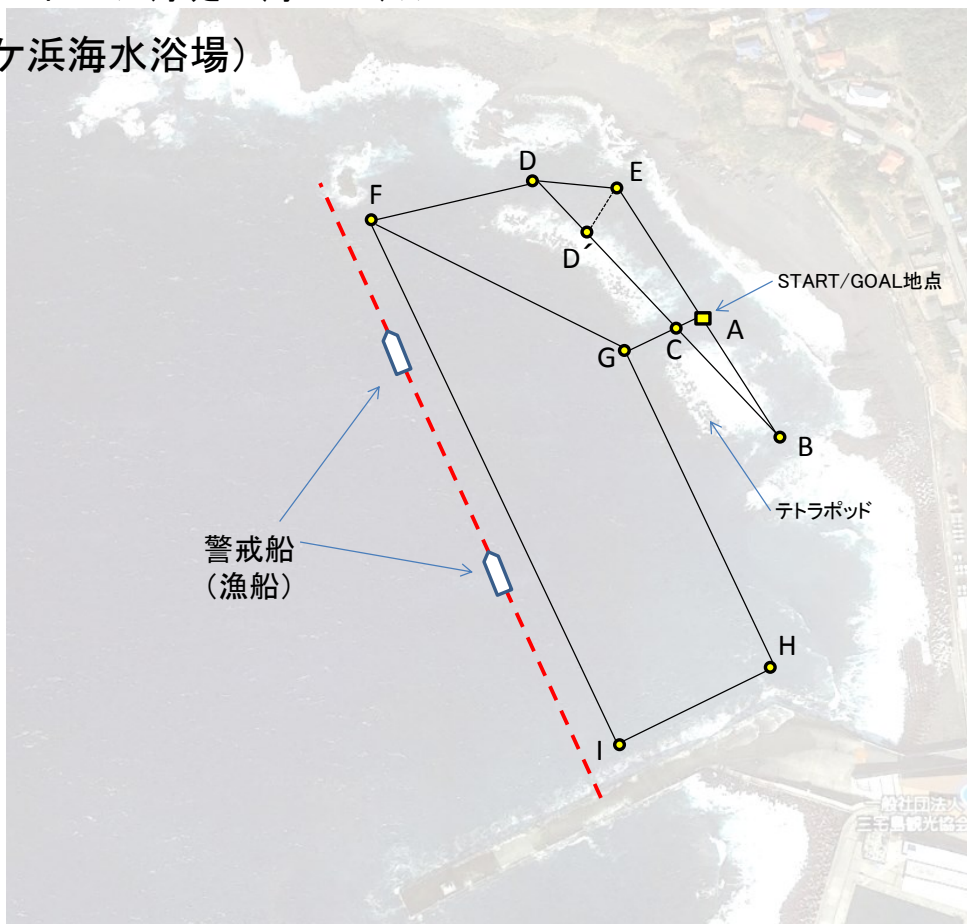


★諸注意★

- ◎大会会場は禁煙です。喫煙は海水浴場指定の喫煙所をご利用ください。
- ◎貴重品は、大会本部ではお預かりできませんので各自で管理をお願いします。
- ◎競技中、各役員への個別のお問い合わせは業務の支障になることがありますのでお控えください。質問等は受付にて一括してお受け致します。
- ◎大会時に撮影した映像・写真等は、広報・宣伝活動などのため、主催者・主管がインターネット・各種メディアに掲載する権利を有します。

★ コースイメージ(予定:1周 2.5km)★

(鯖ヶ浜海水浴場)



※当日の状況により、会場やコースは変更になることがあります。

★表彰規程★

- (1) 個人総合は各種目 1~3 位までに賞状、副賞、メダルを授与。
- (2) 個人総合の各種目 4~6 位までに賞状、副賞を授与。
- (3) 個人年代別は総合入賞者を除き、10 歳刻みの年齢区分毎に上位 3 名に賞状、メダルを授与。
- (4) 個人種目のウェットスーツ着用はオープン参加とし、入賞対象にしない。
- (5) 招待選手もオープン参加とし、入賞対象にしない。
- (6) リレーは総合 1~3 位まで楯、賞状、副賞を授与。
- (7) リレーの総合 4~6 位まで賞状を授与。
- (8) 年齢区分の決定には大会開催年の12月31日の年齢を利用する。
- (9) 規程に記載が無い事項については実行委員長が判断し決定する。

	賞状	メダル	楯	副賞
個人総合 1~3位	○	○	×	○
個人総合 4~6位	○	×	×	○
個人年代別 1~3位	○	○	×	×
リレー総合 1~3位	○	×	○	○
リレー総合 4~6位	○	×	×	○

★ 三宅島OWS大会のレースについて★

1. NOWS公式ホームページに公開したスタートリストをご覧ください。お名前、出場種目、ゼッケン番号、Tシャツサイズ(個人種目のみ)を記載してありますので、ご確認ください。
2. 受付に健康チェック表・誓約書(表・裏)を用意してあります。選手は両面とも良く読んで、必要事項を記入した後に、受付に提出してください。健康チェック表・誓約書はHP上からダウンロードも可能です。事前にご記入頂くとスムーズに受付が可能です。
3. OWS大会に出場した経験のない方、経験の少ない方、少しでも不安のある方は、受付時および招集時にお申し出ください。
4. 大会プログラム、参加賞を受け取り、ナンバリングへお進みください。担当者がゼッケン番号を両腕にマジックで記載します。
5. アナウンスがありましたら、指定された場所へとお集まりください。事前にトイレ、給水等はお済ませください。
6. 全員で体操をし、ウォームアップを行います。必ず水の中に入り、自分の体調を確認してください。少しでも体調が普段と違うと感じたら、躊躇せずに棄権を招集役員に申し出てください。
7. ウォームアップ後に競技説明を行います。安全上の注意等、よく聞いて、自分の体は自分で守る気持ちで臨んでください。
8. 招集後、スタート場所への移動時に人数の最終確認を行いません。
9. スタート1分前よりカウントが始まります。30秒前のアナウンスで膝まで水に入ってください。10秒前よりカウントダウンが始まり、ホーンが鳴ったらスタートになります。
10. 指定されたブイを順番に回ってゴール地点まで戻ってきてください。
11. 着順判定は水中にて着順判定員が行います。陸地で他の選手を抜くことは認められませんので、水中で勝負をしてきてください。
12. タイム計測は計測チップにより陸上の通路部分のゴールラインにて行います。通路に沿って進み、計測担当にチップを渡してゼッケン番号の申告をしてください。このゼッケン申告をした時点でゴールとなります。泳ぎ終わったら終了ではありませんので、ご注意ください。
13. 複数のレースにご出場の場合、レース毎にゼッケン番号が変わりますので、次のレースの招集までに必ずゼッケンを書き直してください。
14. リレー種目は陸上のタッチゾーンで引き継ぎを行いません。戻ってきた選手は必ず陸上の通路を通り、タイム計測、ゼッケンの申告をしてください。ゼッケンの申告をした時点で引き継ぎ完了となります。最終泳者も同様に通路を通り、ゼッケンの申告をしてください。申告時点でゴールとなります。
15. レース途中で棄権をする場合や、ジェット等で浜に搬送された場合は、怪我や体調不良の有無にかかわらず、必ず本部にて申告をしてください。泳者の人数把握にかかわりますので、必ず守るようお願いいたします。また、医師もしくは看護師の問診を受けてください。
16. 各レース終了後、30分を目処に結果速報が受付場所付近に掲示されます。ご自分のタイム、着順等をご確認ください。疑問点等がありましたら結果の確定前(掲示後30分以内を目処)に大会本部までお伝えください。
17. 表彰式は懇親会にて行いません。完泳証につきましては、結果確定後、受付にてお渡し致します。完泳証・賞状・副賞などは郵送致しません。ご希望の方は着払いでのお受け取りをご了承いただければお送り致します。
18. 全種目、当日エントリーはできません。
19. 各種目とも参加標準タイムが定められています。参加標準タイムを超えた場合、また参

加標準タイムまでに明らかにゴールできない速度で競技をしている場合には、基準をもとに退水を指示することがあります。

20. NOWSでは下記保険に加入しています。

- 団体総合補償制度費用保険(WIZ) 往復途上なし
 - ・死亡、後遺障害 1,000 万円
 - ・入院(日額) 5,000 円
 - ・通院(日額) 3,000 円

※団体総合補償制度費用保険(WIZ)は、死亡・後遺障害、入院、通院の補償があり、傷害及び特定疾病を補償します。

入院限度日数は、180日以内の180日間、通院限度日数は、180日以内の90日間となります。

- 主催者(施設所有管理者)賠償責任保険
 - ・対人賠償 1名につき 1億円、1事故につき 3億円
 - ・対物賠償 1事故につき 1,000万円

【競技日程と競技順】

7月22日(土) 11時00分 5km・2.5km 同時スタート
 13時40分 500m×4 リレー

【参加資格】

- OWSは危険で過酷な競技であることを了承すること
- 参加種目の距離を制限時間内で完泳できる泳力があること
- 定期的に水泳練習を行っていること
- 既往症(内臓疾患・心臓疾患・呼吸器疾患等)のある人は医師の許可を得ること
- 未成年者は親権者直筆の日付ならびに署名入りの参加同意書を提出すること
- その他大会実行委員会が不相当と認める人の出場は不可とする

【水着】

- 着用水着については、制限は設けない。
- ウェットスーツを含む浮具の着用は着順除外とする(オープン参加)。
- レース当日の水温が22℃以下のときには、下記の条件のもと、保温性のあるウェットスーツの着用を認め着順除外をしない。
 - ・ OWSの大会、海練習等で着慣れている体格にあったウェットスーツであること
 - ・ ウェットスーツ無しでも出場する種目を完泳する泳力があること

【競技】＜開催会場が錆ヶ浜海水浴場の場合＞

(1)5kmの部

競技受付 9時00分～10時00分 (大会会場受付デスク・時間厳守)

体操・ウォームアップ・競技説明 10時30分～10時50分

競技スタート 11時00分の予定 (一斉スタート)

制限時間 120分

計測方法 海岸に設けたスタートラインからスタートし、1周2.5kmのコースを2周した後、海岸に設けたゴールゲートを通る時にタイムチェックをする。ゴールした選手は着順札を受け取り、記録デスクに移動し、氏名・所属・着順・タイムの確認を受ける。ランキングは総合および年代別で作成する。

(コースは当日の天候等により、変更または短縮の可能性もあります)

(2)2.5kmの部

競技受付 9時00分～10時00分 (大会会場受付デスク・時間厳守)

体操・ウォームアップ・競技説明 10時30分～10時50分

競技スタート 11時00分の予定 (一斉スタート)

制限時間 80分

計測方法 海岸に設けたスタートラインからスタートし、1周2.5kmのコースを1周した後、海岸に設けたゴールゲートを通る時にタイムチェックをする。ゴールした選手は着順札を受け取り、記録デスクに移動し、氏名・所属・着順・タイムの確認を受ける。ランキングは総合および年代別で作成する。

(コースは当日の天候等により、変更または短縮の可能性もあります)

(3)500m×4リレーの部

競技受付 9時00分～12時40分 (大会会場受付デスク・時間厳守)

体操・ウォームアップ・競技説明 13時10分～13時30分

競技スタート 13時40分の予定 (一斉スタート)

制限時間 60分

計測方法 第1泳者は海岸に設けたスタートラインから一斉スタートし、1周500mのコースを1周して指定ゾーンで待つ第2泳者にハンドタッチして2泳がスタートする。同様に3泳、4泳へと引継ぎ、ゴールした4泳の選手は着順札を受け取り、記録デスクに移動し、チーム名・着順・タイムの確認を受ける。ランキングは総合の着順で作成する。

NOWS 競技ルール

1. FINA の OWS ルール(下記参照)を基本とし、以下の独自ルールを適用する。
2. 個人種目は男女別総合 6 位までを表彰する。
3. 各大会において事前申し込み参加者総数が 300 名を超える場合には、個人種目の年代別表彰を 5 歳刻みで行う。
4. 300 名に達しない大会は 10 歳刻みで年代別表彰を行う。
5. 参加者は本人直筆の日付ならびに署名入りの参加誓約書を提出しなければならない。
6. 未成年者は親権者直筆の日付ならびに署名入りの参加同意書(様式自由)を提出することで大会に参加することができる。
7. 大会の特徴に応じて、大会特別ルールを適用することがある。特別ルールは大会要項に明記する。
8. 大会要項で特に指定の無い限り着順レースとする。ゴールを陸上に設置した場合には、ゴール前にあらかじめ設けられた範囲において足が付き、上半身が水面よりも上がった時点で着順が判断され、それ以降の追い抜きは失格とする。
9. 着用する水着に制限をしない。浮力のあるウェットスーツは原則として非推奨とする。
10. 安全面の配慮からブイやライフガード等へつかまっただの一時的な休憩を認めるが、ほぼ全身が水面から上がる形での休憩は失格とする。
11. 制限時間はあらかじめ大会要項で定められた時間とする。
12. 水温が 18℃以下または 32℃以上の場合には大会を実施しない。水温が 22℃以下の場合には保温性のあるウェットスーツの着用を認める。ただし、OWS の大会または海練習等で着慣れている体格にあったウェットスーツであること、及びウェットスーツ無しでも出場する種目の距離を完泳する泳力があることを条件とする。

NOWS 大会中止・中断基準

1. 競技開始前に基準条件下であった場合には競技をスタートしない。
2. 大会開催中に基準条件下になった場合には実行委員長の判断でレースを中断する。
3. 基準に該当しない場合であっても参加者の安全確保に重大な支障が生じると実行委員長が判断した場合にはレースを中断する。
4. 中断の基準となる事象が解消された場合、競技再開は実行委員長が判断する。
5. 中断から1時間経過後、中断基準が解消されない場合は、実行委員長判断により以後の競技は中止する。
6. 大会前日18時の時点で、大会開催中に大会中断基準に該当することが明白である場合は、実行委員長の判断により大会を中止する。

NOWS 大会中止・中断判断基準

- イ) 風速8m/秒以上
 - ロ) 波高1m以上
 - ハ) 水温18度以下
- ニ) 視界 2km以下
 - ホ) 地震、津波、波浪、暴風等警報が発令された場合
 - ヘ) 雷鳴、閃光いずれかを感知した場合
 - ト) 鮫や、毒を持つくらげ・エイなど、危険生物が出現した場合
 - チ) 警察、消防等の行政組織より中断・中止の指示があった場合

自然環境下で実施する NOWS 主催 OWS 大会でのアドバイス・退水 勧告・退水指示・退水命令に関するルール

個々の選手の生命を守るとともに、選手全体の安全を守るため、自然環境下で実施する OWS 大会では下記の基準でアドバイス・退水勧告・退水指示・退水命令を行います。

(1) アドバイス

ライフガードが下記のいずれかの状態にある選手を認識したら、該当選手の泳ぎを止めてアドバイスと体調確認を行います。

- ◎ 明らかにコースを外れた方向に泳いでしまっている。
- ◎ 明らかに標準時間でゴールできないペースで泳いでいる。
- ◎ 泳ぎ方が不自然である。
- ◎ 泳ぎ方・ペース・泳ぐ方向のいずれかが急に変わった。
- ◎ 苦しそうに泳いでいる。
- ◎ 他の選手を妨害し、他の選手の安全に支障がおきている。

(2) 退水勧告

アドバイスを複数回受けても改善が見られない場合、ライフガードは退水勧告をし、途中棄権の要請を行います。選手はご自身で継続か棄権かの判断ができますが、二度目の勧告を受けても継続を選択すると下記にある退水命令が出される可能性があります。

(3) 退水指示

アドバイス時に目がうつろである、声掛けへの応答が鈍いなど、生命に影響がありそうな反応であった場合には、ライフガードがそのまま確保し、審判長の許可を得て退水措置を行います。選手は必ず指示に従ってください。

標準時間の半分の時間を過ぎた時点より、半分の距離まで到達できていない選手に対しては後方の選手より順次退水指示をされ最寄りのブイまで泳ぐか、その場で退水するかを判断して頂きます。ただし、最寄りのブイが後方の場合には、その場で退水を指示し、審判長の許可を得て退水措置を実施します。選手は必ず指示に従ってください。

標準時間の 15 分前より、標準時間以内にゲートブイに到達できる見込みが無いと判断される選手に対しては、後方の選手より順次退水指示を出して、退水措置の手続きを進めていきます。選手は必ず指示に従ってください。標準時間内に、または退水指示を受けるより前に、ゲートブイに到達できればそのままゴールまで泳ぐことを認めます。

(4) 退水命令

ライフガードの退水指示に従わない・暴言・暴力・威嚇など、大会運営全体に支障が出る行為を行った場合には、審判長から出される強制退水命令のもと、選手の意図に反する強制退水を実施することがあります。なお、該当競技者は強制退水命令時点で大会出場資格停止処分となり、NOWS 理事会での承認が下りるまで NOWS 主催の大会に出場できません。